

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会議名	第2回姫路市スポーツ推進計画検討懇話会
2 開催日時	平成26年12月24日（水曜日） 午後2時～午後3時56分
3 開催場所	姫路市役所10階 第3会議室
4 出席者又は欠席者名	別紙1の通り。朝田委員、小林委員、高寄委員欠席
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人2名
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 説明・審議3 その他4 閉会
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙2参照

姫路市スポーツ推進計画検討懇話会委員名簿

(50音順、敬称略)

区 分	氏 名	肩書き等
会長	末井 健作	兵庫県立大学名誉教授
委員 ※欠席	朝田 眞司	姫路市小学校体育連盟副会長
	尼子 尚公	姫路市中学校体育連盟副会長
	沖 智美	公募市民
※欠席	小田 美佐子	姫路市立幼稚園推進連盟会長
	小林 弘子	特定非営利活動法人 姫路市身体障害者福祉協会 副理事長
	生田 義孝	兵庫県高等学校体育連盟西播支部理事長
※欠席	高寄 俊秀	姫路市体育協会副会長
	西本 眞造	姫路市議会厚生委員会委員長
	平井 康允	姫路市スポーツ推進委員会会長
※代理出席	南 良樹	公募市民
	吉田 裕康	姫路商工会議所専務理事

別紙 2

事務局	1 開会 (14:00)
	2 説明・審議
	(1) スポーツ推進計画骨子(案)について
	(2) 各委員の意見
会長挨拶	14:00
	骨子案についてひとつの形となるものを出していただいた。皆様のご意見を頂戴し、内容あるものにしたい。市民の方々がスポーツを通し、健康に生活できるような施策にできればと考えている。
事務局説明	14:05
	スポーツ推進計画骨子(案)について
会長	14:20
	事務局からの提案は以上です。各委員のご意見、ご要望等順にお伺い致します。
委員	これらの内容を実現できれば素晴らしいと思う。 1回目となる世界遺産姫路城マラソンについて、コースに魅力が感じられない、人がいない場所ばかり、との声を聞く。 ランナーは国内様々なマラソンに参加している。奈良マラソンは沿道に人が絶えず、ゴール地点でのお迎えも素晴らしいと聞くが、姫路の魅力は何か。
事務局(答)	姫路城、名古山、書写、置塩、塩田温泉など姫路の名所、旧跡をまわるコースとなっている。応援はなるべく北部でお願いするなど、ランナーに声援を送りたい。 また、小中学生らによるメッセージカードの配布、食のブース、大手前公園にて、マラソン祭と銘打ち食博を行うなど、おもてなしに努めたい。
委員	駅での案内、対応など、地元のおもてなしも重要ではないか。

事務局

駅の北側にテントを設け、そこから案内を行いたい。また、みゆき通り商店街にも働きかけながらおもてなしに努めたい。

委員

この計画の期間は定めるのか。

事務局

特に定めていない。今後の方向性を示すものとして策定したい。

委員

実施計画及び数値目標は策定するのか。

事務局

実施計画の策定は未定。各事業を推進する際、個別に数値目標を設定するなどしながら進めたい。

委員

具体的な内容と目標を定めるべきでは。

委員

商工会として、地域経済の活性化をお願いしたい。

まず、健康増進を図るため、ライフステージに応じ、幼児期から高齢者までスポーツにかかわることは非常に重要で、知恵も必要。

姫路城マラソンには北海道から沖縄まで全国に情報発信できる。このスポーツを通じ、全国に宣伝するなど、広報、宣伝ツールとして考えてみては。

また、東京オリンピック、パラリンピック事前誘致について、利用される方により、施設整備内容が変わる。全国大会、プロとアマチュアとの違いもある。それらを踏まえた整備が必要では。

会長

合宿も含めた施設の活用について考えはあるか。

事務局

姫路球場、県立武道館は新しいが、陸上競技場やスポーツ会館は老朽化が進んでいる。これらの見直しの中で、東京オリンピック合宿、関西ワールドマスターズも視野に入れながら、建て替えも含めて考えていきたい。

会長

マラソンは鋭意進められている。実施後の課題を踏まえ、充実した大会としていただきたい。

学校体育と社会体育の結びつき、人口減少に伴うクラブ数の減少については困難な問題である。

委員

学校開放は、小学校で行なっており、中学校も夜間に、太極拳、柔道などに開放している。利用者のマナーが度々問題になる。開放時間、場所についても問題である。

学校体育は少子化、指導者の減少に伴い、部活動の減少を招いている。特に男子バレー、柔道が顕著である。サッカー、野球は人気があるが、クラブチームに所属する生徒も増えている。ジュニア世代からの一貫指導体制にどれだけ取り組めるか疑問が残る。

専門知識を持った顧問も必要。人材不足も問題だ。

施設利用に関しては、県立施設のほうが市立施設より利便性が高いと感じている。学校にもシャワーやロッカールームがあればなお良い。

会長

地域スポーツの活性化と学校体育との関連について総力上げて取り組む必要がある。この辺りをどう整理していくか課題である。

委員

確かに市施設の利用は規制が多いように感じる。行政の連携を図ってみては。

会長

クラブハウスの活用も柱になっている。施設を使用する側からどう仕組みを作るか課題となるのでは。

幼少期のスポーツへの関わりは重要。この時代の経験が重要になる。

委員

幼少期のスポーツへの関わりは大事。体を動かすことの重要性を感じている。スイミングや体操の教室に通う子もいれば、そうでない子もいる。

幼児はスポーツクラブに入れない。そういった子どもが体を動かす機会が必要。

親子で体を動かすきっかけづくりの提供をお願いできないか。

また、子育て支援で体操の機会が設けられればいいのでは。

委員

高校は一般開放できないが、考査時の土日について、グラウンドゴルフ、少年野球など、地元の要請があれば使ってもらっているが、部活の時間は利用できない。調整が難しい。

事務局	<p>部活にも積極的に入ってもらいたい。部活に入っていない生徒は全く運動していない。こういう生徒を取り込む仕組みができれば。</p> <p>老朽施設の新規建設の予定はあるか。</p> <p>具体的にはない。市内点在する施設の統廃合は考えられる。</p> <p>手柄山の老朽化が進む施設、特に陸上競技場は手を加える必要がある。</p>
委員	<p>骨子案は、子どもは遊びの中から、学生は部活動、プロスポーツへのつながりもあり素晴らしい。</p> <p>子どもの基礎体力データがあれば、他都市との比較もできていいのでは。</p> <p>他都市交流について、播磨中枢拠点に関係する市町村との交流もできるといいのでは。</p> <p>皇后杯では市内から3チームが出場した。ASハリマが活躍できるよう、支援について市長も色々と考えておられる。</p> <p>他都市は組織あげての応援が多い。姫路にはない。強いチームがあって地域がまとまるという方向性が出せればいいのでは。</p> <p>する、見る、応援する人、具体的な計画が必要。文化振興ビジョンも参考にしながらたくさんの意見を聞いて進めてほしい。</p>
会長	<p>大きな方向性を示すもの。肉付けし、どれを実施していくのか大きな課題。事務局での優先度、予算の関係もある。</p>
委員	<p>市施設の利用時の対応について、使いにくさを感じる事がある。</p>
会長	<p>システム、情報発信も考えているようであるが、対応できるようであればして頂きたい。</p>
委員	<p>これらすべての実現は大変。公園とスポーツ施設を組み合わせるなど、早く実現できるもの考えてもらいたい。</p> <p>施設整備された地区をモデル地区とし、スピード感を持って優先的に進めてみては。</p>

委員

幼稚園でスポーツの時間は設けてあるか。

委員

毎日ある。なわとび、跳び箱等やっている。

指導によって、その後の好き嫌いが決まると思う。指導者の配置は重要。

委員

高校に顧問は配置されているか。

委員

配置されていない。

委員

なでしこもワールドカップ優勝を機に一気に応援が増えた。強くなるまでの支援が大事。

会長

結果も大事。苦しみを乗り越えることも大事。支える関係者の努力も求められる。そのバランスが大事。

企業スポーツも盛んで歴史もある。企業、大学との連携も新たに考えておられる。その連携も骨子に示してみては。

少子化の中でスポーツの推進を図るのか、するだけでなく、支えるといった考えももちながらどう進めていくのか。

学校体育の充実、地域スポーツクラブの推進について課題が出された。

マラソンを介してスポーツボランティアが芽生え、地域住民の結びつきが生まれる。

スポーツを介し、経済活性化、国際観光都市を掲げる姫路に繋げる。

他都市との連携も図りながら多くの方々に訪れていただき、住んでおられる人との交流を図るといった意見があった。

委員

幼稚園の運動会で運動神経の発達した子どもを見ることがある。小学校にそういう素質を伸ばせるようになればいいと思う。

委員

残念ながら小学校にそのような指導者は配置されていない。体育の時間を通じて伸ばす。陸上に力を入れている学校もあり、そこで力を伸ばす子もいる。

会長

そこが学校と地域スポーツの繋がりであると感じている。

事務局

議事録確認依頼、次回の日程について

5 閉会 (15:56)